

秋のたより

発行 我孫子市民図書館

〒270-1147 我孫子市若松26-4 電話04-7184-1110

我孫子市民図書館開館35周年！！

我孫子市民図書館は、昭和54(1979)年に旧市民会館に開設され、今年で35周年を迎えます。この間、時代の変遷とともに我孫子市は急速な発展をはたし、図書館も昭和57年に湖北台分館、昭和62年に布佐分館を開設し大きく成長を続けました。

昭和41年に公民館の一室に図書室として発足した当時の蔵書は約300冊ほどでしたが市民図書館開設時には約4万5000冊になり、現在では約41万5000冊(湖北台・布佐分館分を含む)を所蔵するまでになりました。また、図書館では図書館資料の提供以外にも、子どものための科学実験講座やおはなし会、著名な作家を招いた講演会などの開催といった様々なサービスを展開しています。

これからも市民図書館は、単なる「市民への資料提供」にとどまることなく、市民の誰もが気軽に心ゆくまで利用できる図書館をめざし、豊かな読書環境づくりに努めていきますのでどうぞよろしくお願い致します。

我孫子市民図書館長



旧図書館（旧市民会館内）



現図書館（アビスタ内）

読書週間とは・・・

戦争の傷あとが日本中のあちらこちらに残っていた昭和22(1947)年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、「第1回読書週間」が開かれました。

「第1回読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれました。現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本人は世界のなかでも特に「本を読む国民」となりました。

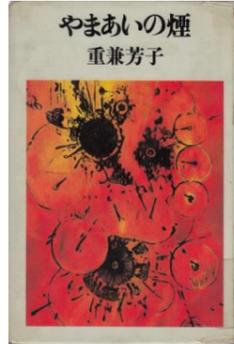
今年の「第68回読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。



手賀沼のうなきちさん

図書館が開館した年、1979（昭和54）年の芥川賞・直木賞

第81回芥川賞
(1979年上半期)



『やまあい煙』
重兼芳子／著
文藝春秋

第81回芥川賞
(1979年上半期)



『愚者の夜』
青野聰／著
文藝春秋

第82回芥川賞
(1979年下半期)



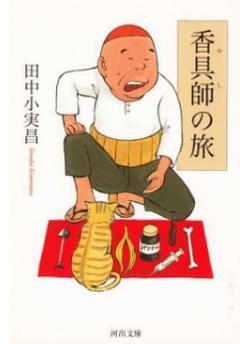
『モッキングバードのいる町』
森禮子／著
新潮社

第81回直木賞
(1979年上半期)



『ナポレオン狂』
阿刀田高／著
講談社

第81回直木賞
(1979年上半期)



『浪曲師朝日丸の話』
「ミミのこと」
『香具師の旅』より
田中小実昌／著
河出書房新社

芥川賞

純文学短編作品で、主に無名もしくは新進作家が対象となる。
現選考委員 小川洋子 奥泉光 川上弘美 島田雅彦 高樹のぶ子
堀江敏幸 宮本輝 村上龍 山田詠美

直木賞

短編および長編の大衆文芸作品で、無名・新進・中堅作家が対象となる。
現選考委員 浅田次郎 伊集院静 北方謙三 桐野夏生 高村薫
林真理子 東野圭吾 宮城谷昌光 宮部みゆき

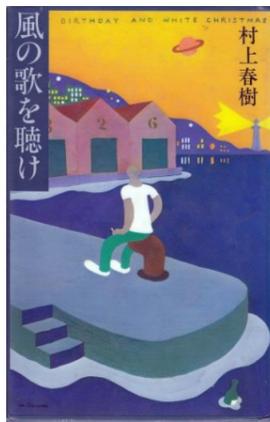
両賞とも年2回（上半期・下半期）受賞作品が発表される。

1979年の上半期芥川賞では、カルチャーセンターで創作を学んだ主婦作家重兼芳子と文芸評論家青野季吉の息子である青野聰が受賞。一方、上半期直木賞では、推理小説の翻訳なども手掛ける東大哲学科中退作家の田中小実昌と、ブラックユーモアのたゞようショートストーリーを得意とする阿刀田高が受賞。下半期芥川賞では、アメリカでの滞在経験をもとに愛と孤独を描いた作品で森禮子が受賞。（下半期の直木賞は該当なし）

村上春樹デビュー（1979年7月）

村上春樹

1949年京都市生まれ
早稲田大学卒
1979年、『風の歌を聴け』で第22回群像新人文学賞を受賞しデビュー。
1985年『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』で谷崎潤一郎賞を受賞する。
1987年に発表した『ノルウェイの森』は、通算発行部数が1,000万部を超える大ベストセラーとなった。



『風の歌を聴け』
村上春樹／著
講談社

『風の歌を聴け』

ジャズ喫茶を営むかたわら書き上げた作品。カート・ヴォネガットなどのアメリカ文学から大きな影響が見られ、主人公である「僕」や友人である鼠を中心とした若者の青春を軽やかなタッチで描いている。散文詩を読んでいるかのような不思議な味わいが感じられる。

1979年のできごと

- 大阪の三菱銀行北畠支店で猟銃事件。（三菱銀行人質事件） - 1月26日
- イラン革命。 - 2月1日
- アメリカのスリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故。 - 3月28日
- 第5回先進国首脳会議（東京サミット）開催。 - 6月28日
- ソニーがヘッドホンステレオ「ウォークマン」を発売。 - 7月1日
- 日本坂トンネル火災事故。 - 7月11日
- 上野動物園のジャイアントパンダランラン死去。 - 9月4日
- 第1次大平内閣衆議院解散。（増税解散、一般消費税解散） - 9月7日
- 韓国の朴正熙大統領暗殺。 - 10月26日 -
- プロ野球日本シリーズで広島が近鉄を4勝3敗で下し球団創設30年目で日本一に輝く。第7戦の江夏の21球が語り草となる。 - 11月4日
- 国鉄のリニアモーターカーが時速504キロを達成。 - 12月12日
- ソビエト連邦のアフガニスタン侵攻。 - 12月24日 -

◆ヒットした歌謡曲◆

いとしのエリー／サザンオールスターズ
魅せられて／ジュディ・オング
関白宣言／さだまさし
愛の水の中花／松坂慶子
いい日旅立ち／山口百恵

◆ヒットした映画（邦画）◆

銀河鉄道999（アニメ）
あゝ野麦峠（大竹しのぶ）
男はつらいよ 噂の寅次郎（大原麗子）

◇ヒットした洋楽◇

ダンスに夢中／レイフ・ギャレット
ラヴィン・ユー・ベイビー／キッス
アイム・セクシー／ロッド・スチュアート
ヴーレ・ヴー／アバ
オネスティ／ピリー・ジョエル

◇ヒットした映画（洋画）◇

スーパーマン（クリストファー・リーヴ）
ナイル殺人事件（ピーター・ユスティノフ）
グリース（ジョン・トラボルタ）

我孫子市民図書館のあゆみ

- 昭和41（1966）年9月
公民館図書室発足
- 昭和53（1978）年8月
移動図書館「そよかぜ号」稼働
- 昭和54（1979）年11月
我孫子市民図書館（旧市民会館内）開設
- 昭和57（1982）年7月
湖北台分館開館
- 昭和62（1987）年7月
布佐分館開館
- 平成14（2002）年4月
我孫子市民図書館本館を我孫子市生涯学習センター（アビスタ）内に移転

蔵書数 (冊)	
昭和54年11月	平成26年9月
45,000	415,402

貸出冊数 (冊)	
昭和55年度	平成25年度
332,275	1,244,929

貸出利用者数 (人)	
昭和55年度	平成25年度
90,835	320,587

上橋菜穂子さん講演会 我孫子市で開催決定！！

2015年1月24日（土） 我孫子市民プラザホール

“児童文学のノーベル賞”といわれる国際アンデルセン賞作家賞を受賞された上橋菜穂子さんの講演会開催が決定しました。同賞受賞後、大変お忙しいスケジュールの中、講演会をお引き受けくださいました。

開演時刻や申込方法などの詳細は、広報あびこ12月1日号に掲載されます。また、市役所・図書館ホームページにも掲載しますので、ぜひ忘れずにご確認ください。



我孫子市民文化・スポーツ栄誉章贈呈
(7月13日川村学園女子大学)

○上橋菜穂子さんのプロフィール

1962年東京生まれ、我孫子市在住。
児童文学作家、ファンタジー・SF作家で
文化人類学者。
川村学園女子大学特任教授
日本児童文学者協会会員

○上橋菜穂子さんの代表作

『精霊の守り人』をはじめとする
守り人シリーズ
『獣の奏者』シリーズ
『月の森に、カミよ眠れ』

○アニメ化された作品

『精霊の守り人』（NHK BS2）
『獣の奏者エリン』（NHK教育テレビ）

上橋菜穂子さんの著書の紹介



『物語ること、生きること』 上橋菜穂子／著 講談社

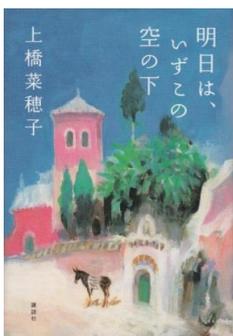
著者は、各地で語り伝えられてきた昔話を祖母から聞き、両親には好きな絵本を繰り返し読んでもらって育った。一方で、病気がちだったため「強さ」に憧れ、忍者やヒーローになりきって遊んだ。

学生時代に、文化人類学の研究で訪ね歩いて初めて知った、それぞれの国の人々の「生き方の選択」や「願い」。

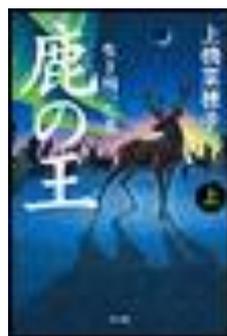
それらの経験が全て作品とつながっているという。

生い立ちから「ファンタジー」を書き始めるまでを著者自身が綴った1冊。巻末に、作家になりたい子どもたちへのメッセージも書かれている。

最新刊の紹介



『明日は、
いずこの空の下』
上橋菜穂子／著
講談社
2014年9月出版



『鹿の王 上』



『鹿の王 下』

『鹿の王 上』
- 生き残った者 -
『鹿の王 下』
- 還って行く者 -
上橋菜穂子／著
(株)KADOKAWA
角川書店
2014年9月出版